

彼方「かなた」

校長通信
H24.5.17
Vol.11

【チーム湖北、総合三位！】

過去に雨の中で市内陸上競技大会が行われたという記憶がありません。冷たい雨が降る中、各校代表者による室内での開会式となりました。星野市長、中村教育長にご挨拶をいただき、代表選手による選手宣誓が行われました。役員室という手狭な場所ではありましたが、大変立派な選手宣誓でした。

競技は、トラックのハードル種目をかわきりにフィールド種目と平行して進められました。湖北中が盛り上がったのは、いきなり男子110mHで、二年生の渡邊選手が後続を大きく引き離してゴールした時です。

続いて、男子3000mで大きな盛り上がりを見せました。前半ラップ80秒という遅いペースで始まり、勝負へのこだわりからか、なかなか前に出て引く選手がいませんでした。そんな中、原子選手が先頭に立ち、ペースをあげながら先頭集団を引っ張りました。白山中の選手と原子、小島の両選手がデッドヒートを繰り返しましたが、最後は、原子選手が一位、小島選手が白山中の選手をかわして二位という大変立派な成績を収めました。

さらにフィールドでは、女子の砲丸投げが行われ、波岡さんと二年生の後藤さんが頑張りました。特にソフトボール部の波岡さんは、持ち前のパワーを生かし、序盤の投擲で8m90cmという立派な記録を出し、他の選手に抜かれることもなく、二位の選手を引き離して優勝することができました。

湖北中選手団は、出場した多くの選手がシーズンベストや自己ベストを出すことができました。雨という悪条件にもかかわらず集中して競技に臨んだ結果だと思えます。

運動系部活動は、大会結果が数字ではつきりと出ます。結果を意識する余り、練習の成果が出せず悔しい思いをするというのはよくあることです。しかし、冷たい雨のお陰で、余計なことを考えることもなく逆に集中力が高まり、自己ベストにつながったというのは驚くべきことです。

いずれにしても当初からの目標であった男子三位、女子三位、総合三位という結果が見事達成できました。本当に嬉しい限りです。雨の中、競技役員の補助を一生懸命務めていた仲間にも大きな拍手を送りたいと思います。

湖北中選手団のみなさん大変よく頑張りました！
チーム湖北、三位入賞、本当におめでとう！

